

多様な障がい者が ともにプレーできる 野球ルールの方策

Ver 1.0

一般社団法人アナザーフィールド

障がい者野球の課題



- ・ 障がい者野球のプレー環境
身体; 身体障がい者野球、ろう野球、Tボール、ソフトボール
知的; Tボール、ソフトボール
精神: Tボール、ソフトボール
※軽度障がいの場合は、一般野球チームへの参加も可能だが…
- ・ 障がい区分毎の対応
全障がい者が参加できる環境がない
参加基準が厳しい傾向にある(パラスポーツ全般に言えること)
- ・ 年少者の参加環境が少ない
学童野球レベルでの受け入れが難しい
試合体験の場がない

選手のやってみたいゲームを実現するには？

ルール検討にあたり

ルール検討にあたっては、以下のことに留意した。

- ・ スポーツマンシップの理念を念頭におくこと
- ・ 多様な人の参加を可能とすること
 - ⇒ PLAYERS FIRSTの想いにて
- ・ 怪我防止に最重点をおくこと
- ・ 参加者(選手&観戦者)全員が愉しめること
- ・ 審判のジャッジ(判定)を容易とすること



参考) 大会案

また、本ルールを適応する大会案としては、

- ・ 基本的なルールは、「公認野球規則」に準拠する。
- ・ 本ルールは、多様なプレイヤーの参加する大会や試合において、「公認野球規則」に加味して利用するものとする。
- ・ 本ルールは、多様なチームの参加を可能とするため、大会や各試合毎に、各チームに適したルールの適応を合議により選択するものとする。
- ・ トーナメントではなく、リーグ戦形式(3~4チームの総当たり)を念頭に置いている(球場確保が課題)。
- ・ 参加者は、障がい手帳保持者および同等と認められる者(手帳不所持も、手帳取得可能と思われる者)をメインに、健常者の参加も可能と想定している。
- ・ 一試合のチーム参加者は、15名とし障がい手帳保持者および同等と認められる者が80%以上となるようにする。
- ・ チーム参加者は、試合毎に入替を可能とする。
- ・ 一般向けの「野球の試合を愉しむルール」と年少/初心者向けの「野球を楽しむルール」により、レベルに合わせた実施も想定している。



A close-up photograph of a brown leather baseball glove with a white baseball resting inside it. The glove and ball are positioned in the upper left corner of the frame. The background is a solid, bright yellow color.

一般者向け
「野球の試合を愉しむルール」

ルール1 (攻撃編)

ルール	補足説明
高反発バット使用禁止	怪我防止対策 ⇒ 但し、隻腕選手は利用可能
投球方法選択制(通常/トス)	年少者/初心者および障がい負荷の大きい者対策
三振ルール禁止	年少者/初心者および障がい負荷の大きい者対策
振り逃げルール禁止	年少者/初心者および障がい負荷の大きい者対策 ⇒ キャッチャー負荷および難しいルールの混乱対応 ※身障野球ルール参考
打者代走	下肢障がい者(走塁不可者)対策 ⇒ 打撃後、打者の代わりに走る走者を設定 ※身障野球ルール参考
一イニング攻撃制限①	選手全員参加対策 ⇒ 一イニング最大得点5点にて攻撃終了 ※少年野球ルール参考
一イニング攻撃制限②	選手全員参加対策 ⇒ 一イニング最大打者9名にて攻撃終了 ※少年野球ルール参考
一イニング攻撃制限③	選手全員参加対策 ⇒ 一イニング最大時間7分にて攻撃終了(試算:一イニング7分 * 表裏2回 * 7イニング=98分) ⇒ 2ボール1ストライクスタートの併用も検討
全員打ち	選手全員参加対策 ⇒ 一チーム最大の人数制限付き全員打ち(選手最大15名制)



ルール1（守備編）

ルール	補足説明
守備サポーター制(指示／捕球／送球)	ルール理解不足者および上肢下肢障がい者対策 ⇒ 守備者の直近にサポーターを配置してのプレーを可能とする
キャッチャーワンタッチ捕球制	年少者／初心者および障がい者対策 ⇒ キャッチャーの体に投球が触れた時点で捕球とする ※身障野球ルール参考
外野手4人制	年少者／初心者および下肢障がい者対策
フォースアウトエリア拡張ルール	接触プレーのリスク回避対策 ⇒ 各ベース周りのフォースアウトエリアの拡張 ※ソフトボールルール参考
守備入替自由	選手全員参加対策 ⇒ イニング毎守備選手および守備位置の変更可能(選手最大15名制) ⇒ 全員の守備着は義務化としない



ルール1（走塁編）

ルール	補足説明
盗塁ルール禁止	年少者／初心者バッテリーおよび障がい者キャッチャー対策 ⇒ 盗塁の進塁数制限も検討 ⇒ 「キャッチャーワンタッチ捕球制」採用時は盗塁なし
下肢障がい者走塁ルール	下肢障がい者（走塁希望）対応 ⇒ 塁間調整（牽制死なしの規定距離離塁）を可能とする ⇒ 「打者代走制」後のランナー出場を可能とする
タッチアップルール禁止	年少者／初心者対策 ⇒ 「外野フライグローブタッチアウト」および難しいルールの混乱対応



ルール1 (勝負編)

ルール	補足説明
三ポイント勝敗制大会の開催	通常得点ポイント／出場イニングポイント／第三者ポイントによる三ポイント個別優勝&総合優勝
①通常得点ポイント	通常の得点差による勝負ポイント
②出場イニングポイント	全員出場を前提に、チーム内の各人の出場イニング数によるポイント ⇒ 選手の入替えは自由(負傷交代を除きイニング毎)を前提とする ⇒ メンバーの試合毎出場イニング数の均衡状況にて算出する
③第三者ポイント	大会参加チームによる投票ポイントによる勝負 ⇒ 「一番楽しんでいた」、「一番盛り上がっていた」、「ユニフォームの着こなし」などにチーム投票
総合優勝	通常得点ポイント、出場イニングポイント、第三者ポイント合計による勝負

A close-up photograph of a brown leather baseball glove with a white baseball resting inside it. The background is a solid, bright yellow color. The glove is positioned in the upper left corner of the page.

年少／初心者向け
「野球を楽しむルール」



ルール2(攻撃編)

ルール	補足説明
投球方法選択制(通常ノース/T台)	バッティング経験の満足度向上対策 ⇒ 打者に自主選択を可能とする
三振ルール禁止	バッティング経験の満足度向上対策 ⇒ 「打って」終了を基本とする
打者代走	下肢障がい者(走塁不可者)対策 ⇒ 打撃後、打者の代わりに走る走者を設定 ※身障野球ルール参考
打者残塁	全ての選手に走攻守を経験できるようにする対策 ⇒ 「ノーアウト一塁インニング開始」とし、打者はアウト時もアウトカウントプラスの上で一塁残塁とする ⇒ フライアウトでは一塁ランナー入替 ⇒ 打者走者を含むダブルプレー時も一塁ランナー残塁 ※リトル障がい野球ルール参考
一イニング攻撃制限	選手全員参加対策 ⇒ 一イニング最大打者9名にて攻撃終了
全員打ち	選手全員参加対策 ⇒ 一チーム最大の人数制限付き全員打ち(選手最大15名制)



ルール2（守備編）

ルール	補足説明
守備サポーター制（指示／捕球／送球）	ルール理解不足者および上肢下肢障がい者対策 ⇒ 守備者の直近にサポーターを配置してのプレーを可能とする
外野手4人制	年少者、初心者および下肢障がい者対策
フォースアウトエリア拡張	接触プレーのリスク回避対策 ⇒ 各ベース周りのフォースアウトエリアの拡張 ※ソフトボールルール参考
外野フライグローブタッチアウト	年少者、初心者および下肢障がい者対策
守備入替自由	選手全員参加対策 ⇒ インニング毎守備選手および守備位置の変更可能（選手最大15名制） ⇒ 全員の守備着は義務化としない



ルール2（走塁編）

ルール	補足説明
リード／盗塁なし	年少者、初心者対策 ⇒ 投球後の離塁は可能 ※ソフトボールルール参考
タッチアップルール禁止	年少者、初心者対策 ⇒ 「外野フライグローブタッチアウト」および難しいルールの混乱対応



ルール2（勝負編）

ルール	補足説明
三ポイント勝敗制大会の開催	勝負ポイント／総得点ポイント／第三者ポイントによる三ポイント個別優勝 & 総合優勝
1. 勝敗ポイント	通常の得点差による勝負ポイント
2. 総得点ポイント	総得点によるポイント
3. 第三者ポイント	大会参加チームによる投票ポイント ⇒「一番楽しんでいた」、「一番盛り上がっていた」などにチーム投票
総合優勝	通常得点ポイント、出場イニングポイント、第三者ポイント合計による勝負